

令和7年度 授業改善推進プラン 5年（課題分析と授業改善策）

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	・「書くこと」の学習について、文字数は書くことはできていても、伝えたい内容を焦点化し、要点を絞って書くことに課題がある児童が多い。 ・自分の考えを相手に伝えるための語彙が少なく、表現力に課題がある児童が多い。	・モデル文を提示し、「はじめ・中・おわり」の構成や、段落ごとの役割を読み取ったり、接続詞の効果的な使い方に着目させたりすることで、論理的な文章構成の理解を深める活動を設定する。 ・語彙を増やすために、教材文中の意味が分からない語彙を調べる時間を設定する。また、表現力を高めるため、自分の考えを文章に書き表す時間を毎授業設定する。	
算数	・四則演算の定着度が低く、立式ができたとしても計算でつまづくことがある。 ・文章題に苦手意識がある児童が多く、立式に課題を感じている児童が多い。	・毎時間導入で計算問題1～3題解き、計算方法やポイントを確認、復習する。 ・文章を細かく区切ったり、声に出して読んだりする習慣を付けさせる。また、解く際に重要な語句については、線を引くなど印をつけさせ、どの四則演算を用いて立式すればよいかを考えさせる。	
社会	・情報整理のために適切な資料を選択したり、資料から数値を正しく読み取ったりすることができない児童が多い。	・自由に検索をさせるのではなく、必要な情報が載っているサイトのURLをクラスルームに張り付けて、そこから情報を選ぶようにする。写真やグラフ等の資料を多面的に捉え、考えを伝え合ったりまとめたりする活動を積極的に行う。	